

第36回医学史研究会

日本医学史学会関西支部一九九六年秋季合同総会

と き 一九九六年十一月十六〜十七日

と ころ 阪大医学部銀杏会館(吹田市山田丘)

〔第一日〕

I. 要望課題・医療・看護・介護の医史学的解明に挑戦する

シンポジスト 山城正之(兵庫県)、木下安子(東京都)、

沖津邦弘(大阪府)、中川米造(京都府)、

長門谷洋治(大阪府)

II. 医学史研究会事務総会

〔第二日〕

I. 一般演題①

1. 近代手術のあけぼの・英国の例 栗本 宗治(大阪医大)

2. クルムスに関する新史料

―グダンスクでの調査から― 石田 純郎(新見女子短大)

3. 明治初期京都における調剤資格制度に関する史的考察

小野 尚香(大阪大)

4. 抜歯、古事記と伝承インド医学の相互補完

杉本 茂春(大阪大)

II. 追 悼 丸山 博先生

山城正之、松田 武、あと丸山光代様よりご

挨拶あり

追 悼 松田方一先生

水野 洋

追 悼 宗田 一先生

杉立義一

III. 一般演題②

5. 「大國明次郎姓名録」中に見える難波豊と長越元昱

中山 沃(西宮市)

6. 緒方洪庵「膠柱方」(適塾の基準処方集)について

―億川百記「助忘録」より― 有坂 隆道(関西大)

7. 芸備医学会百年を迎えて 江川 義雄(廿日市市)

8. わが国最初の臨床検査書「蟲鑑」について

寺畑 喜朔(高岡市)

9. 「彌性園」における蘭学の推移 田中 祐尾(八尾市)

IV. ミニ特別講演

桃山病院百年のカルテから

―大阪におけるベスト流行を中心に―

青木 隆一(阪和病院院長・元桃山病院院長)

(長門谷洋治)

例会記録

十二月例会 平成八年十二月二十一日(土)

順天堂大学医学部九号館八番教室

日本薬史学会・日本医学史学会合同例会(司会 大滝 紀雄)

一 江馬式蒸風呂と薬草 中西 淳朗

二 衝心性脚気の歴史的研究

— 中毒病因論的研究を中心として

三 京のオランダ・海老屋

辰野 高司  
片桐 一男

洋学史学会・日本薬史学会・日本医史学会

宗田一先生合同追悼会 第一部 (司会 小曾戸 洋)

開会の辞

酒井 シツ

宗田先生の経歴と業績

長門谷洋治

宗田先生を偲んで

大塚 恭男

宗田先生の思い出

青木 允夫

宗田一先生合同追悼会 第二部 (司会 小曾戸 洋)

順天堂大学有山記念館地下食堂

挨拶

日本医史学会理事長 蒲原 宏

洋学史学会会長 石山 洋

日本薬史学会会長 柴田 承二

献杯

日本医史学会常任理事 杉立 義一

十一月例会 平成八年十一月十六日(土)

順天堂大学医学部八号館三階会議室

一 足立長雋の家系と年譜考

石原 力

二 アメリカと日本におけるヘボン

大滝 紀雄

一月例会 平成九年一月十八日(土)

順天堂大学医学部九号館八番教室

一 懸田克躬先生のこと

岡田 靖雄

二 ビデオ供覧『医真菌学の歴史を訪ねて

—— 太田正雄と真菌研究 ——』

例会抄録

アメリカと日本におけるヘボン

大滝 紀雄

私は平成八年夏、明治学院大学、関東学院大学、横浜指路教会、共立学園の職員らと共にヘボン・ブラウン研修北米七日間の旅に参加した。ニューヨーク着後、イーストオレンジ、プリンストン大学、スプリングフィールド、アマハースト大学、アルバニー、オーバーン、ロチェスターの大学などをめぐり、ヘボンとブラウンの墓参、内村鑑三、新島襄、クラーク、テンニー等の跡を訪ねた。

日本ではヘボンの名はかなり有名で、ヘボンが宣教師兼医師でありヘボン式ローマ字の考案者、和英語林集成の編纂者、聖書の翻訳者であることが一般に知られている。更に詳しい人は彼が指路教会の創始者であり、明治学院の初代総理であったことまでも知っている。

これに反して彼の生国であるアメリカではヘボンの名はあまり知られていない。私はニューヨークの西、車で三―四十分の距離にあるニュージャージー州のイーストオレンジ市にあるロースデール墓地を訪れた。ここにはヘボン夫妻の墓の